

丹波縄文の森塾 活動報告

令和7年12月20日（土） 雲



もちつき



もちつき、薪割り、焼き芋、しめ飾り作りをおこないました。もちつきの杵（きね）と臼（うす）は、社会福祉法人恩鳥福祉会ポプラの家から借用。朝から蒸しておいた餅米を臼に入れ、サポーターに小突きをしてもらったあと、塾生についていきました。ついたお餅をみんなで丸めて、あん餅、きなこ餅、おろし餅、みたらし餅ができあがりました。



薪割り



薪割り体験では、薪割り機を使いました。キンドリンクラッカー（キンクラ）という名前で、ニュージーランドの13歳の少女が考えたもの。斧での薪割りは、斧が重いのでかなりの力が必要ですが、キンクラは、ハンマーでたたくだけなので簡単です。

薪がきれいに割れたときは、すっきりした気持ち良さがありました。



昼食は、大根、人参、白菜、油揚げ、豚肉のいっぱい入ったお味噌汁とつきたてのお餅。とってもおいしかったです。お餅に使った餅米は、5月にみんなで田植えをしたヤマフクモチ。9月に稻刈り、10月に脱穀した餅米でついたお餅。食べながら、これまでの活動を思い出しました。



午後はしめ飾り作り。藁（わら）でメガネの形に編んだしめ縄に、赤白の水引、ユズリハ、紙垂（しで）などを取り付けていきました。

水引を作るのが一番むずかしく、試行錯誤しながら、やっと結ぶことができました。

午前中の薪割りの後、焼き芋づくりをしました。サポーターから提供していただいたサツマイモを洗い、ぬれた新聞紙とアルミホイルでくるみ、炭火で焼きました。焼き上がりまで、待ち遠しかったです。終わりの会が終わってから急いで焼き上がりを見に行き、お土産として持って帰りました。

焼き芋の準備



しめ飾り

